



西山記念文庫NPO化の波紋拡がる

～農村建築研究会 50 周年記念事業に共催団体として参加～

広原盛明

今から半世紀前の1950年1月20日、東京新文学館で第1回総会を開いた「農村建築研究会」が今年で発足50周年を迎え、さる2000年1月22日に東京の建築会館で記念事業シンポジウムが荻原正三先生を実行委員長にして盛大に催されました。そして光栄にも、NPO法人としては生後僅か2カ月の西山記念文庫が共催団体として参加する機会を与えられました。

農村建築研究会は、新日本建築家集団（NAU）農村建築部会を前身として発足した農村建築研究者の交流の場ですが、その後の数多くの共同調査や共同研究を通して、農村建築や農村住宅研究に限らず建築計画学の理論的確立を促したきわめて重要な研究組織です。発足当初の中心メンバーは、現在、文庫会員である青木正夫・浦良一・青木志郎（当時はいずれも20歳代）や佐々木嘉彦・浜口隆一などの諸先生で、初代会長は今和次郎先生でした。西山先生は1952年度の、文庫会員の石田頼房・下河辺千穂子先生は1956年度の運営委員として参加しておられま

す。

こうした輝かしい歴史と伝統を反映してか、当日は発足当時の諸先生が多数参加されてシンポジウムもパーティ也大いに盛り上がり、その中で西山記念文庫のNPO法人化も大きな話題になりました。定年を迎えた名誉教授クラスの先生がいずれも研究資料の保管問題に直面しておられるからです。すでに「今和次郎コレクション」の整理に取り組んでおられる荻原先生、これから「吉武（泰水）文庫」の設立を考えてみたいと話された浦先生、「吉阪（隆正）文庫」の準備を始めようとしている重村先生、そして「高山（英華）資料」をどうしようかと悩んでおられる石田先生など、多くの先生方が西山記念文庫の今後の行方到大いに関心を持っておられま



総会のおしらせ

日時：2000年6月10日（土）午後
場所：西山記念文庫
終了後、親睦パーティを予定しています。

企画展・シンポジウム

東京と大阪で秋に開催します。
詳細は次号でお知らせします。

西山先生と私

特集号です！

西山研究室とのおつき合い	城谷 豊 p.12
「山あて」のあの山この山	石田頼房 p.14
父の思い出	西山勝夫

2000年 西山文庫夏の学校 開催！
いよいよ国際交流プログラムはじまる

期日：8月3・4・5日（2泊3日）
対象：建築・住居・都市計画専攻の学生・院生
場所：積水ハウス総合住宅研究所
西山記念文庫ほか

- ◆交流会：韓国延世大学住居学科の尹貞淑教授（次期韓国住居学会会長）と大学院生が訪日されるのを機に国際交流を計画しています。
- ◆ワークショップ：ならまちを予定。

参加者をご紹介ください！

- ◆詳しいプログラムは、No. 8レター（6/1付け）でご案内します。